

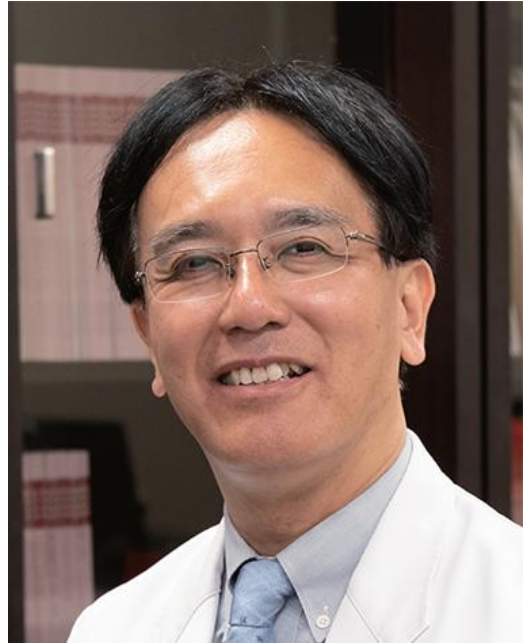
和

77
2026

Osaka City General Hospital



- 医師のホンネ。
- 地域で進めるがんゲノム医療
- 腎臓よもやま話～ええ!? スイカ、腎臓に悪いんですか!?
- 連携登録医のご紹介



大阪市立総合医療センター
副院長兼小児血液・腫瘍内科部長
藤崎 弘之

1991年 大阪大学医学部卒業
1999年 大阪大学大学院博士課程修了
1999年 市立吹田市民病院小児科
2003年 大阪大学医学部小児科 助手
2004年 St. Jude Children's Research Hospital 博士研究員
2018年 大阪市立総合医療センター 小児血液腫瘍科 部長
2026年 大阪市立総合医療センター 副院長兼小児血液・腫瘍内科 部長

Q 医師を目指したきっかけは？

天満橋にあった小さな酒屋に勤めていた父と専業主婦の母という医業とは縁もゆかりもない家庭育ちで、加えて文系志望だったのですが、高校2年生の夏休みのある朝に突然、「医師になろう」と思い立ったのを覚えています。会社や組織のためではなく、人を直接助ける仕事になら人生を捧げられると考えました。両親とも医学の世界のことはまったく知らなかったため、少し説得が必要だったのは懐かしい思い出です。

Q 患者さんへのメッセージ

私は子どもが病気で亡くなる理不尽に對峙したいと思い、小児科医、特に小児がん・白血病を専門としてきました。がんや白血病に限らず小児難病の治療は、患者さんも大変ですし、医療側もとても苦勞します。しかし、それらを乗り越えて助かった生命は、地域や世の中のために必ずたくさん貢献をしてくれることになり、私たちも支えられることになります。そのような思いをもって、日々研鑽を積みながら取り組んでいます。

Q 今後の目標を教えてください

大阪を代表する病院の副院長を拝命し、小児のみならず成人の患者さんにも求められる医療を提供できるよう、病院運営にかかわる使命と責任を感じています。医療分野の変化・進歩は急速なものがありますので、それに対応してより良い病院にしていく、そして市民の皆様信頼され、また支えられる病院にしていくことが目標となります。そのためには市民の皆様のご指導・鞭撻が必要かと思えます。どうぞよろしくお願い申し上げます。



地域で進めるがんゲノム医療

in Osaka

小児血液・腫瘍内科
医長 山崎 夏維

腫瘍内科担当部長
徳永 伸也

消化器内科副部長
杉森 聖司



ゲノム医療普及のために 「連携」という視点でセミナーを開催しました

今回のセミナーは、消化器内科副部長の杉森聖司先生にがんゲノム医療の最新情報を発信していただきました。演題は『がんゲノム医療のトリセツ～明日から使える胆膵領域の最新知見と超速・紹介術～』です。近年、胆道がん・膵臓がんに対する遺伝子・治療（がんゲノム医療）が注目されていることもあり、近隣医療機関の先生方やコメディカルなど、大変多くの方々にご参加いただきました。

消化器内科副部長 杉森聖司先生からのメッセージ

がんゲノム医療は、一人ひとりの遺伝子異常に合わせた最適な治療を見つけ出す究極の個別化医療です。今回のセミナーでは、新薬の開発が相次ぎパラダイムシフトが起きている胆膵領域の最前線と、当院の「迅速なゲノム検査体制」についてご紹介しました。当院では自施設でのエキスパートパネル実施という強みを生かし、ご紹介いただいた患者さんの負担を最小限（最短2回の受診）に抑えたスムーズな診療を提供しています。今後も地域の先生方と連携しながら、一人でも多くの患者さんに「可能性」を届けられるよう取り組んでまいりますので、引き続きよろしくお願いいたします。

腎臓よもやま話

ええ！？スイカ、腎臓に悪いんですか？

夏によくある 患者さんとの会話

患者さん：『ええ！？スイカ、腎臓に悪いんですか！？スイカは腎臓に良いて、昔から云うから、たくさん食べてました！』

医師：『実は、悪いんです。正確に言うと、スイカは腎臓の力が落ちている人には、良くないんですよ。スイカには、カリウムというミネラルがたくさん入っています。腎臓の力が落ちていると、それがおしっこに出せなくなって、体に貯まり、心臓なんかには悪さをしますよ。』

患者さん：『知りませんでした。。。』

スイカが腎臓に良い？という迷信

夏になると毎年、腎臓病教室で繰り返される患者さんとの、この会話。原因は、いまだに『スイカは腎臓に良い』という迷信が、多くの方々に信じられているからです。このため、スイカの季節になると、腎臓病の患者さんが『腎臓を良くしよう』と、スイカをたくさん食べられて、高カリウム血症（血の中にカリウムがたくさん貯まった状態）になって、しばしば来院されます。高カリウム血症になると、いろいろと悪いことが体に起こります。特に心臓。動悸や脈が飛ぶ事を感じる不整脈だけでなく、心停止を起こして死に至るような恐ろしいケースもあり、とても注意が必要です。

基本的には 食べない方が無難

では、そもそもなぜ『スイカは腎臓に良い』というような話が昔から受け継がれているのでしょうか。想像の域を出ませんが、《腎臓が悪いとむくむ→むくみをとるのに尿をたくさん出す必要がある→尿を出しやすくする(利尿作用を持つ)スイカがよい》、とされたのかもしれませんが。確かに、スイカの90%近くは水分ですので、これだけでも尿量は増えるでしょう。さらに、スイカにはカリウムが豊富に含まれています。カリウムは、ナトリウム(塩分)と一緒に水分を尿へ捨てやすくするので、さらに尿量を増やすことができるのです。確かに、このようなスイカの利尿作用は、むくみをとって血圧を下げるので腎臓に良いかもしれません。

しかし、これは腎臓が正常に働く元気な状態であればの話です。腎臓の力が弱い方、腎不全の方には、スイカの水分とカリウムが逆にアダになります。腎臓の力が落ちているために、水分やカリウムが尿へきちんと排泄できず、むくみや高カリウム血症を引き起こしてしまいます。つまり、スイカが毒になってしまうのです。くれぐれも、迷信にとらわれてスイカが腎臓に良いと思わないように、基本的にはなるべくスイカを食べないように、ご注意ください！

注) 腎臓が悪くても、尿管障害が病気の中心であるために、血中のカリウムが低くなってしまふ患者さんが時々おられます。このような場合は、ご自分の検査結果を参考にしながら、主治医の先生にスイカを食べても良いか、ご相談なさってください。

スイカ以外にも、カリウムの多い食べ物があります。

ちなみに、果物、生野菜、乾物などにもカリウムは多く含まれています。

「正月にみかん、毎日5,6個食べてました」

「目にいいからと思って、干しブドウばかり食べてた。」

「田舎から、ひじきがたくさん送られてきて、もったいないから毎日食べてました。」

すべて、患者さんから実際に伺った話で、大事には至りませんでした。カリウムが上昇しておりました。ご注意ください！



連携登録医のご紹介

かかりつけ医とは、病気になったときなどにすぐに相談できる地域にある医院やクリニック、診療所などのお医者さんです。日常的に相談でき、緊急の場合にも対処してくれるかかりつけ医をもちましょう。



日常の診療・健康管理は
かかりつけ医で

専門的な検査・
治療は当院で

病状が安定したら
再びかかりつけ医で

きたクリニック

院長 北 智之

診療科 内科・循環器内科・糖尿病内科

住所 鶴見区横堤2丁目23-5 一徳ビル3階

電話 06-6911-2345

外来	月	火	水	木	金	土
午前 (9:00~12:30)	○	○	○	○	○	○
午後 (16:00~18:30)	○	○	—	○	○	—

★休診：水曜・土曜の午後 日曜・祝日

院長あいさつ

当院は鶴見区において内科・循環器内科・糖尿病内科を標榜し、日々診療行っています。専門は循環器内科ですが、糖尿病や脂質異常症などの生活習慣病、その他内科全般の診療、動脈硬化の基礎研究など幅広く研鑽を積んでまいりました。地域のかかりつけ医として幅広く患者さまの全体を診ることを心掛け、一人一人に合わせた最適な医療を提供できるように努めております。

クリニックでは糖尿病診療で重要な指標となるHbA1cや、ワーファリンという薬の調節の指標であるPT-INR、骨塩量などを当日測定することが可能です。

必要なときは、大阪市立総合医療センターをはじめ、近隣の医療機関と連携を取り、スムーズな受診ができるように心がけております。

何かの症状でお困りのときはもちろん、病気について、健康についてなど、お気軽にご相談ください。



北院長



あいはら歯科・矯正歯科

院長 大野 裕之

診療科 歯科

住所 都島区友洲町3丁目 1-28

電話 06-6921-2728

外来	月	火	水	木	金	土
午前 (9:00~12:00)	○	○	○	○	○	○
午後 (14:00~19:00)	○	○	○	○	○	—

★休診：土曜午後 土曜午前は13:00まで 日曜・祝日

院長あいさつ

初めて来院された方が治療や予防を通して「ここなら安心して通える」と感じてくださることは、私にとって大きな喜びです。さらに、ご家族やご友人を紹介していただけたときには、当院の取り組みを信頼してくださっているのだと実感し、心から励まされます。こうしたつながりが少しずつ広がり、地域の笑顔が増えていくことこそ、都島で“かかりつけ歯科”として歩み続ける力になっています。



大野院長



読者アンケートのお願い



今後のよりよい広報誌づくりのため、次のアンケートフォームより皆さまのご意見をお聞かせください。

<https://forms.gle/eXGKpuPLckhuHYaq9>

患者さんの権利

1. 個人の尊厳を重視した安全で良質な医療を平等に受ける権利があります。
 2. 自分の医療に関する情報を理解できる言葉や方法で十分に提供された後、意見を述べるなど治療計画に参加し、自分の意思に基づいて医療行為を選択する権利があります。
 3. 自分の受ける医療について、知る権利ならびに診療情報の開示を求める権利があります。
 4. 診療に関する個人情報、診療目的以外に使用されないよう厳密に保護されます。
 5. プライバシーに配慮した医療の提供を受ける権利があります。
- 自分の病気に関する説明、診断などを他の医療機関からも受ける権利があります。

■発行責任者：地方独立行政法人大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター
地域医療連携センター

〒534-0021 大阪市都島区都島本通2-13-22

<http://www.osakacity-hp.or.jp/ocgh/>

大阪市立総合医療センター

検索

